

クリスマスに読んでほしい本

「クリスマスを探偵と」



伊坂 幸太郎／文
マヌエーレ・フィオール／絵

舞台はドイツ。探偵カールがクリスマスの夜に出会った、謎の男とは…？伊坂作品のエッセンスすべてが凝縮された、心温まる聖夜の奇跡の物語。マヌエーレ・フィオールによる幻想的で抒情的な雰囲気の内挿も収録。

伊坂幸太郎（いさか・こうたろう）さんは、1971年千葉県生まれ。東北大学法学部卒業。「オーデュボンの祈り」で新潮ミステリー倶楽部賞を受賞しデビュー。「ゴールデンランパー」で山本周五郎賞、本屋大賞を受賞。

「クリスマスとよばれた男の子」



マット・ヘイグ／文
クリス・モルド／絵
杉本 詠美／訳

貧しい家に生まれたニコラス。父ちゃんは賞金を稼ぐため、エルフの村を探しに出かける。ニコラスは意地悪なおばさんとの暮らしに耐えきれなくなり、父ちゃんを追って北を目指す…。サンタになった男の子の物語。

マット・ヘイグさんは、イギリス人の作家。児童書作品で、ブルー・ピーター・ブック賞、ネスレ子どもの本賞金賞を受賞。作品に「今日から地球人」など。

「サンタクロースの11かげつ」



マイク・リース／ぶん
マイケル・G・モントゴメリー／え
三辺 律子／やく

てんでこまいのクリスマスが終わると、サンタクロースの仕事もお休み。しかも、まるまる11か月も！サンタは休みの間、何をしていますのでしょうか？知られざるサンタの休暇のみつに迫ります。

マイク・リースさんは、脚本家・児童文学作家。テレビシリーズ「ザ・シンプソンズ」の脚本家。マイケル・G・モントゴメリーさんは絵本作家。ジョージア州在住。

その他の本

- ◆ 「シネマコンプレックス」
畑野 智美／著
- ◆ 「クリスマスを救った女の子」
マット・ヘイグ／文
クリス・モルド／絵
杉本 詠美／訳
- ◆ 「クリスマスがちかぶくと」
斎藤 倫／作
くりはら たかし／画

- ◆ 「くませんせいがねているうちに」
すとう あさえ／ぶん
たかくわ こうじ／え
- ◆ 「ジングルベル」
キャサリン・N・デイリー／作
J. Pミラー／絵
こみや ゆう／訳
- ◆ 「どこ？ クリスマスのさがしもの」
山形 明美／作

- ◆ 「もみの木のねがい」
エステル・ブライヤー／再話
ジャニィ・ニコル／再話
おびか ゆうこ／訳
こみね ゆら／絵



12月は、冷暖房設備改修工事のため全日休館しています。

俳句 「短日」

ふそう俳句会

短日や玄関先の立ち話

伊藤 元

水美しき里に生まれて今年酒

市川 信子

長堤をウォーキングして師走風

一色 無音

川柳

扶桑川柳クラブ

小煩い妻も居ないと落ち着かず

前本たかし

スケジュール何度も変わる年の暮

玉田 博子

アルバムの中で大きくなる曾孫

猪野 和子

短歌 「秋明菊」

ふそう短歌会

ひそと咲く秋明菊のかすかゆれ

北村 久子

透明の風天より届け

中山 哲也

年の瀬にわが夢問いしおきなごよ

松井みつ子

雑煮の餅の話をしよう

松井みつ子

平成の最後の師走振り返り

松井みつ子

逝きし親族に両掌合washめ

松井みつ子

詩吟 「寒夜の即事」

寂室元光

風は寒林を攪して霜月明かなり

客来て清和し三更を過ぐ

炉辺に筋を聞いて芋を煨くを忘れ

静かに聴けば窓を敲く葉雨の声

〔意〕 時おりざわざわと冬枯れの林の枝をならして風が通りすぎる霜の夜の月影は冴えている。こんな夜訪れる人あり、浮世はなれをして清談に時を忘れ気付けばすでに夜半すぎ、しまった、芋をやくのを忘れてしまった。折から表戸をほとほとたたく音に炉ばたに火箸をおいてしばし耳を澄ませば、なんとそれは雨のように降りそそぐ落葉の音であった。

正風流二代目家元 山内 正風